



高中だより



令和8年2月27日

2月号

杉並区立高井戸中学校

校長 陽田 登志意

教育目標 ゆたかな人 ねばり強い人 たくましい人 よく考える

令和7年度「学校アンケート」、「教育調査」結果について

経営支援部 高壘 あゆみ

●「学校アンケート」生徒結果

	質問項目	R6	R7
重点 目標	1.夢の実現のために、自分で考え、行動し、実行している。	80.3	84.0
ゆたかな 人	2.学校行事や生徒会活動などを積極的に取り組んでいる。	80.3	92.0
	3.安心・安全な学校生活を送ることが出来ている。	89.3	96.0
	4.アネのバラの歴史や道徳の授業を通して、命の大切さを学んだ。	82.7	92.0
ねばり 強い 人	5.友達との違いを認め、みんなと一緒に活動できる配慮や工夫をしている。	87.7	96.0
	6.授業で分かることやできることが増え、主体的に学んでいる。	85.0	94.0
	7.地域調べ、職業調べ、職場体験、上級学校訪問、進路学習、キャリアガイダンスなどは、自分の生き方や将来を考えるのに役立っている。	80.0	88.0
たくま しい 人	8.授業などでは、体力や食育、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	84.3	96.0
	9.部活動は、実技や人間関係を学び、自分の成長に役立っている。	84.7	92.0
よく 考 え る 人	10.授業では、自分の得意のところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	73.3	87.0
	11.授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	81.7	95.0
	12.授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している	88.3	94.0
	13.地域学習に関心をもって取り組んでいる。	68.3	82.0
	14.学校図書館や高井戸図書館を利用している。	61.7	68.0
地 域	15.地域の行事やボランティア活動に参加している。	44.3	50.0

○「学校アンケート（生徒）」＜結果分析＞

昨年度より、肯定率がすべての項目で上昇しています。特に【質問2】「学校行事や生徒会活動などを積極的に取り組んでいる」では10ポイント以上上昇しており、体育大会や学芸発表会等の中で、生徒主体の取り組みが増えてきている結果と捉えています。【質問13】「地域学習に関心をもって取り組んでいる」も高い上昇率となりました。各学年校外学習や修学旅行等に向けて、事前学習から計画的に取り組む、事後学習までが一連の流れとなっています。しかしながら、【質問15】「地域の行事やボランティア活動に参加している」は肯定率は上昇したものの半数の生徒にとどまっています。毎年、学校支援本部が年度初めにボランティア活動の年間の予定を配布しています。活用を促すとともに、道徳等の授業を通して、今後も生徒のボランティア精神をはぐくんでまいります。

● 「学校アンケート」保護者結果

	質問項目	R6	R7
学校経営	1.子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	88.8	79.0
教育目標	2.学校は教育目標達成のために、様々な教育課程を編成し、取り組んでいる。(TCR,TCCや生徒主体の活動など)	73.0	65.0
重点目標	3.学校は生徒の夢の実現のために、支援や情報提供を行っている。	52.0	50.0
ゆたかな人	4.子どもは学校行事や生徒会活動などを積極的に取り組んでいると思う。	83.0	77.0
	5.子どもは安心・安全な学校生活を送ることができていると思う。	83.0	82.0
	6.子どもはアンネのバラの歴史や道徳の授業を通して、命の大切さや人権意識が育っていると思う。	63.0	59.0
ねばり強い人	7.子どもは学校生活を通して、友達との違いを認め、みんなと一緒に活動できる配慮や工夫をしていると思う。	77.0	78.0
	8.子どもは主体的に学ぼうと学校生活に取り組んでいる。	62.0	67.0
	9.学校の総合学習等で行っている地域調べ、職業調べ、職場体験、上級学校訪問、進路学習、キャリアガイダンスなどは、子どもの生き方や将来を考えるのに役立っていると思う。	70.0	65.0
たくましい人	10.子どもは学校での生活を通して、体力や食育、健康な生活を送る力が育まれていると思う。	75.0	75.0
	11.部活動は、そのねらい(望ましい人間関係、個性の伸長など)が達成され、子どもの成長に役立っていると思う。	68.0	69.0
よく考える人	12.子どもは、学校で学ぶことにより、必要な時に、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っていると思う。	63.0	59.0
	13.学校はICT機器(タブレットやデジタル教科書等)を活用した授業を行っていると思う。	75.0	68.0
	14.子どもは総合の地域学習に取り組み、積極的に地域のことを理解しようとしていると思う。	52.0	45.0
	15.子どもは学校図書館や高井戸図書館を利用している。	50.0	46.0
地域	16.子どもは地域の行事やボランティア活動に参加している。	31.0	30.0

○ 「学校アンケート(保護者)」<結果分析>

【質問3】「生徒の夢の実現のための支援や情報提供」については、進路学習やキャリアガイダンス等を通して、将来について考える機会を設けています。今後も生徒がきちんと自分と向き合いながら、自分の事を考える時間を大切にできるように支援を続けてまいります。

【質問6】「命の大切さや人権意識」については、アンネのバラを題材にした学習や道徳の授業だけではなく、日常的に生徒との関わりの中で「命や人権」について伝え、生徒の意識を高めることに努めてまいります。

● 「杉並区教育調査」結果

	調査項目	R5年度 肯定率 (%)	R6年度 肯定率 (%)	R7年度 肯定率 (%)
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするために できることが増えている。	54.5	55.4	60.6
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変 えるための知識や考え方が身に付いている。	67.2	66.0	67.6
3	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様 な価値観について学んでいる。	43.9	51.6	56.3
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできる よう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	48.1	54.2	52.1
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授 業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	33.3	46.9	45.1
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々 なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用し ている。	64.6	68.3	63.4
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に 応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする 工夫がなされている。	36.0	40.6	39.4
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	29.6	34.0	36.6
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、 HP、お便り等により充分提供している。	58.7	68.6	73.2
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進 められている。	88.4	91.4	93.0
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や 学校生活について考えたり話したりすることができている。	43.9	49.5	53.5
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決 を、きめ細かに支援してくれている。	30.2	45.4	39.4
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交 流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	25.4	27.1	31.0
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる	65.6	70.6	74.6

○ 「杉並教育調査」＜結果分析＞

多くの質問項目で昨年度の肯定率を上回る結果となりました。しかし、【質問9】や【質問12】は肯定率が低い状況を重く受け止めています。学校として最も重要な職務であり、より一層子どもたちに寄り添った指導・支援を続けてまいります。

1 学年校外学習

1 学年担当：武士 樹矢

1 年生は1月23日(金)に校外学習(都内巡り)を実施しました。【協力・安全・学習～人間性を豊かに～】をスローガンに掲げ、都内の決められた範囲を、班別行動で行いました。

事前学習は、夏休みの宿題で行った「都内名所調べ」を行い、都内の魅力に触れました。次に、事前学習を参考に、班で平和と班ごとのテーマを決めました。平和に関しては、3年生の修学旅行に向けてのものになります。班ごとのテーマに関しては、「経済・文芸」など、6テーマに分類し、班ごとにそのテーマにあった施設を巡りました。

当日は、平和とテーマに関する施設に加え、3年生の修学旅行で集合場所となる「浜松町」、昼食場所の「東京 or 浅草」などを、班ごとに行動しました。初めての公共交通機関を使った移動であったため、計画通りに進まない班もありましたが、班長を中心に臨機応変に対応してきました。課題はまだ残ってはいるものの、全員が無事に帰ってきたことが何よりの成果です。

この経験を、2年生のスキー移動教室や3年生の修学旅行に活かしてほしいです。



スキー移動教室

2 学年担当：小林 祐哉

1 月 28 日(水)～30日(金)に、菅平高原へスキー教室に行ってきました。『全力転倒・全力成長～雪に刻め、私たちの痕跡を～』のスローガン達成に向けて、一人一人が全力で取り組み思い出となる行事になりました。

透き通る青い空、真っ白い雪、まるで絵ハガキのような景色の中、スキーの技術はめきめき上達し、表情も自信に満ちあふれていきました。スキー班の友達と笑ったり、支え合ったりしながら仲を深め、充実感・達成感を得られました。3日目には、「もっと滑っていたい!」と思っていた生徒も、ずいぶんいたようです。スキー班の班長さん、大変ご苦労様でした!

宿舎での生活も、大きな楽しみの一つです。食事、レク、自由時間、お土産タイム、入浴、就寝…等、どれも非常に思い出深い1コマになりました。実行委員の8名は、このスキー移動教室を成功させるために、12月上旬から何度も集まり、話し合いをしていました!おかげで、当日はとてもスムーズで、安心して見られました。また、2年生全員が、各係の仕事を分担し、係長を中心に責任をもって取り組んでいました。皆さん、大変ご苦労様でした!ここで得た経験をこれからの学校生活に活かしていきましょう。



3月の予定

日	曜	全体	給食
1	日		
2	月	50×3[3] 都立一次・前期(発表)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ×
3	火	安全指導/避難訓練 ESAT-J YEAR1・2 ⑥TGG前日指導[3]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
4	水	TGG体験学習[3] (放)アンバラ委 ※1・2年	1年 ○ 2年 ○ 3年 ×
5	木	①～④球技大会[3] (放)中央委 都立二次・後期(出願)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
6	金	50×4 ①②③⑤ ⑤～保護者会[全]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
7	土		
8	日		
9	月	特別時間割 始 ①～④救命講習[3]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
10	火	都立二次・後期(検査日) ②③ふれあい体験[3](体育館使用) (AM)全国学力調査 事前検証[2]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
11	水	③④式予行 学びの教室通室 修了式[3] (放)アンバラ委(サ)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
12	木	⑥産婦人科医による講演会[3]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
13	金	50×5 ⑥カット 都立二次・後期(発表) ③薬物乱用防止教室[3]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
14	土		
15	日		
16	月	50×5 ①②③⑥送 生徒朝礼(表彰/3年発表) ⑤三送会	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
17	火	50×4 ①②⑤⑥ ⑤⑥卒業式準備 学びの教室通室終了[1・2]	1年 ○ 2年 ○ 3年 ×
18	水	卒業式 ※午前のみ	1年 × 2年 × 3年 ×
19	木	50×5 ①～④球技大会[1] 小笠原自然体験交流 始	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
20	金	春分の日	
21	土		
22	日		
23	月	50×5 ①～④球技大会[2] 都立定時二次(出願)	1年 ○ 2年 ○ 3年 ○
24	火	50×3 ①式練 ②学年集会 ③美化活動 小笠原自然体験交流 終	1年 × 2年 × 3年 ×
25	水	①②修了式・離任式	1年 × 2年 × 3年 ×
26	木	春季休業日 始 都立定時二次(検査日)	
27	金	都立定時二次(発表)	
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

